



知識社会を生き抜け (発展と課題に対応する意欲と力)

学校長 小邑政明

卒業生の皆さん、ご卒業
おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。入学式からともに歩まれ、今日立派に成長された姿を目の当たりにされて、感慨も一入かと思えます。

私が高等学校を卒業してから半世紀近くになりますが、豊かで便利な社会となりました。そこで、現在は当たり前にあるもので当時は存在しなかったものをいくつか挙げ、卒業生の皆さんに期待することを書きたいと思えます。

一つ目は、パソコン・インターネット・携帯電話等の情報通信機器です。昔の通信手段は固定電話、郵便、電報などがあるだけで情報のやりとりには多くの時間と手間がかかりました。

二つ目は、スーパーマーケット・コンビニエンスストアなどの複合販売や24時間営業の施設がどこにでもあることです。食事を用意するにも、料理に合わせて八百屋さん、魚屋さん、肉屋さんなどの店を何カ所も回らなければなりません。営業時間も限られていました。

三つ目は、銀行のATMやカードによる支払いなどの金融システムです。銀行も支店間のネットワークがなかったので、行きつけの支店のみで通帳と印鑑での預金の出し入れをしました。

様々なことが簡単で便利になりました。一方で、そのことによる課題も出てきています。

メールなどで相手のことを考えないで情報を発信してしまい相手の気持ちを傷つけるといったことが起きています。

スーパー等で食料品を大量に買ってしまい、結果として消費期限切れで破棄してしまう量が年々多くなって問題も起こっています。

また、銀行のATMを使った振り込め詐欺で多くのお年寄りが被害にあっています。親が子を思う気持ちにつけ込んだ卑劣な行為です。

これらの課題を踏まえて、卒業生の皆さんに期待することは、次の二つです。

まず、イノベーションを実現する豊かな創造性をもつとともにグローバル社会で各分野を牽引できる人材に育っていただき、更に豊かな社会を構築してほしいということです。このことは、中央教育審議会で審議されており、大学入試改革もこの方向で行われると伺っています。皆さんには大学入試改革は直接関係はありませんが、皆さんがこれから生きていく社会で今要求される資質能力であるからこそ教育改革の重要テーマとなっているのです。

第二に、豊かな社会だからこそ起こる様々な課題についても積極的に対応し解決していく高い志と意欲をもって社会に貢献してほしいということです。

以上のことを踏まえて、次の50年を創る挑戦者として、新たな一歩を踏み出し知識社会を生き抜いてほしいと思えます。

私達教職員一同、皆さんの将来にわたる活躍を期待するとともに、後輩の生徒の皆さんへの目標となってもらうことを心から願っています。